



(住所) 檀原市四条町817
(祭神) 天津彦根命、高皇産霊命
(交通) 近鉄檀原線・八木西口駅から徒歩で南へ約10分

(拝観) 境内自由
(駐車場) なし
(電話) 0744・226551 (株式会社タカギ)

高市御県神社 (檀原市)

高市御県神社は歴史ある町並みの今井町(檀原市)を解説する資料館、今井まちなみ交流センター「華葦」の南隣に鎮座します。

創建は明らかではありませんが、平安時代の「延喜式神名帳」には、名神大社に列せられ、古くは極めて有力な神社だった



と思われま

高市県については、「日

本書紀」の672(天武天皇元)年7月条で壬申の乱の記事に登場する当地の「高市県主許梅」の名が見えます。

古代の大和国では、天皇に献上する野菜を栽培する直轄地を御県とい

年祭の祝詞の中に「六つの御県(高市、葛木、十市、志貴、山辺、曾布)の各郡の名前と、土地の霊を祭る御県神社の存在が記録されています。

祭神の天津彦根命は高市県主の祖と言われています。他方の祭神の高皇産霊命が祭られている事情は不明です。

その後時代と共に神社は衰えますが、江戸時代以降当社は高木宮とも呼ばれ、今井町の有力な高木家が当社社人の筆頭となり、高木一族が氏子として奉仕してきました。

近年では高木本家が中心になって祭礼を取り仕切っています。なお、国重文「高木家住宅」は19世紀初頭に本家から分家し内部は一般公開されています。(奈良まほろばソムリエの会会員 亀田幸英)

天皇に野菜献上した地の神

高市御県神社は歴史ある町並みの今井町(檀原市)を解説する資料館、今井まちなみ交流センター「華葦」の南隣に鎮座します。